

あとがき

編集顧問

糸満盛憲
越智隆弘
小野啓郎
菊地臣一
黒坂昌弘
清水克時
高岸憲二
竹光義治
富田勝郎
戸山芳昭
内藤正俊
守屋秀繁
矢部裕
山室隆夫

編集主幹

吉川秀樹
編集委員
金谷文則
黒田良祐
土屋弘行
仁木久照
松本守雄
松山幸弘
山本卓明

オンライン投稿

ID: rinseige

パスワード: rinseige

今年の関東地方は7月末までは水不足でしたが、8月に入ってから電や雷を伴う異常気象が続き、8月も末になってようやく天候が落ち着いてきました。北朝鮮の8月25日先軍節のミサイル発射に続き、9月3日の水爆実験、15日の太平洋に向けたミサイル発射と米軍基地のある沖縄に在住している筆者としては北朝鮮の暴走を危惧しております。

今月号の論述「骨粗鬆症性椎体骨折に対する保存療法の予後不良因子の検討」は優れた臨床研究であり、受傷機転として転倒・転落、T2低濃度広範囲型、椎体の前壁損傷、後壁損傷や胸腰椎移行部骨折が圧潰進行の危険因子であること、を示しました。「橈骨遠位端骨折におけるteardrop angleと手関節機能との関連性」では術前のTDA-VT(volar tilt)が関節内転位量を反映しており、DASHスコアと有意に相関すること述べており、今後は術後TDA-VTとDASHスコアの関係を検討していただきたいと考えております。「膝離断性骨軟骨炎の保存療法群、手術療法群における臨床所見、画像所見の比較」ではMRIにおけるcyst like lesion(CLL)が手術群に多かったことから、CLLを伴う中間部位・内顆病変は慎重な経過観察が必要な可能性を示唆しています。「調査報告」では一般市民を対象とした運動器検診でロコモの有病率が38.8%と高く、そして高齢で膝伸展力が弱いとの結果を示しています。

運動器疾患の慢性疼痛に対しては長期に薬剤投与が行われることが多く、薬物療法のスタンダードの確立が必要であり、有用な連載企画になっております。NSAIDsは整形外科が頻用する薬剤の1つですが、消化管障害や心血管系への影響が問題になります。小腸びらん、潰瘍発生率に関するNSAIDs+PPI併用群とセレコキシブの比較試験ではセレコキシブ群の消化管障害が少なかったとのことです。一方、選択的/非選択的にかかわらずNSAIDsは、心血管系イベントとの関連が示唆されている薬剤であり、2007年にアメリカ心臓病学会が発表したNSAIDs使用におけるステートメントでは心血管系疾患を有する患者に対して、痛み止め目的でのNSAIDs使用は制限すべきで、COX阻害活性が弱く厳密にはNSAIDsには分類されないもののアセトアミノフェンを第一選択薬に挙げているとのことです。運動器疾患の慢性疼痛では薬物が長期に投与されることが多く、薬物相互作用への配慮が必要になります。私たち整形外科医も腎機能や低たんぱく血症に注意し、認知機能や服薬コンプライアンス、薬剤組み合わせによる相互作用にも留意する必要があります。近年、NSAIDsに加えてプレガバリンやオピオイドが登場し、NSAIDsを補完するようになりましたが、精神依存の形成や退薬症候を防ぐ必要があります。

臨床経験の「腰椎後方手術後の上殿皮神経障害」も興味深い報告であり、固定術後に発生が多く、ブロック注射2回までで緩和されることが多いことは有用な知見です。その他、片側下肢の麻痺を呈した脳腫瘍や、Linburg-Comstock syndromeなど、本号も有用な情報が満載です。臨床にお役立ていただければ幸いです。(金谷文則)

臨床整形外科 (第52巻第10号)

2017年10月25日発行(毎月1回25日発行)

定価 本体2,600円+税

2017年 年間購読料(送料弊社負担・本体価格)

冊子版 28,080円+税

冊子+電子版/(個人) 33,080円+税

電子版/(個人) 28,080円+税

E-mail rinseige@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinseige>

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話 編集室直通 (03)3817-5702(担当:石井・前野)

販売部直通 (03)3817-5659

ファクシミリ (03)3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 (株)アイワード 電話 (011)241-9341

広告申込所 (株)医薬広告社 電話 (03)3814-1971

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 2017. Printed in Japan.

・本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。

・本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・**JCOPY** (出版者著作権管理機構委託出版物)

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。

*「臨床整形外科」は株式会社医学書院の登録商標です。